

令和3年度

高浜市地域包括支援センター
事業報告

令和4年8月1日

目次

I. 地域包括支援センターの体制	1
(1) センターの専門職員状況	1
II. 総合相談支援業務	1
(1) 相談延件数／割合	1
(2) 相談世帯数／割合	1
(3) 相談者別延人数	1
(4) 実態把握件数	2
(5) 援助内容別件数	2
III. 権利擁護業務	3
(1) 対応内容別件数	3
(2) 虐待通報実人数・虐待会議数	3
(3) 虐待通報者数（上位のみ）	3
IV. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	4
(1) 関係機関会議	4
(2) 現任介護職員研修	4
(3) 介護支援専門員研修	4
(4) 地域包括支援センター内で必要時、個別ケースの情報の共有・検討を実施	4
(5) 地域ケア会議	4
(6) 介護予防のための地域ケア個別会議	5
V. 介護予防ケアマネジメント	6
(1) 介護予防・日常生活支援総合事業	6
(2) 指定介護予防支援事業	6
(3) 指定介護予防支援事業委託件数	7
VI. 在宅医療・介護連携推進事業	8
(1) 高浜市在宅医療・介護連携推進協議会について	8
(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援について	8
(3) 医療・介護関係者の研修	9
VII. 認知症総合支援事業	10
(1) 普及啓発	10
(2) 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護	10
(3) 介護者への支援	10
(4) 認知症の方を含む高齢者にやさしい地域づくり	10
VIII. 生活支援体制整備事業	11
(1) 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起	11
(2) 関係者のネットワーク化	11
(3) 生活支援サービスの担い手の養成	11
IX. その他	12
(1) 家庭介護者支援事業（市内事業所との共催で、介護者や一般市民に対する介護教室を開催）	12
(2) 住宅改修	12
(3) 認定調査	12
(4) まちづくり協議会への参加	12

令和3年度 高浜市地域包括支援センター事業報告

I. 地域包括支援センターの体制

(1) センターの専門職員状況

(各年度3月末現在)

職 種	令和3年度	令和2年度	平成31年度
社会福祉士	1	1	1
主任介護支援専門員	2	2	3
保健師	6	4	4

- 高浜市地域包括支援センターは、第8期高浜市介護保険事業計画に基づき、地域包括支援センター事業計画を立て、事業運営を行った
- 地域包括支援センターの3職種が業務の理念を理解した上で、常に情報を共有・協議し、支援を行うチームアプローチに努めている

II. 総合相談支援業務

(1) 相談件数/割合

年度(高齢者数)	来 所	電 話	訪 問	その他	合 計
R3年度 9,475	1,949 43.3	1,619 35.9	801 17.8	136 3.0	4,505
R2年度 9,431	1,739 40.1	1,621 37.5	829 19.1	139 3.2	4,328
H31年度 9,326	1,868 40.4	1,848 39.9	770 16.6	141 3.0	4,627

(2) 相談世帯数/割合

年 度	家族同居	65歳以上のみ	単 身	その他
R3年度	2,134 47.4	1,045 23.2	988 21.9	338 7.5
R2年度	1,815 41.9	954 22.0	1,246 28.8	313 7.2
H31年度	2,150 46.5	1,070 23.1	1,188 25.7	219 4.7

(3) 相談者別延人数

年 度	本 人	家 族	知 人	ケアマネジャー	民生委員	医療機関	その他
R3年度	1,202	2,170	85	937	55	390	785
R2年度	1,160	2,166	61	938	61	407	725
H31年度	1,269	2,372	51	772	91	332	673

(4) 実態把握件数

	R3 年度	R2 年度	H31 年度
実態把握	652	679	582

(5) 援助内容別件数

年 度	申請手続・紹介	介護保険サービス	施 設
R3 年度	3,001	1,479	639
R2 年度	2,992	1,471	552
H31 年度	3,232	1,475	605

年 度	認知症 相 談	精 神 心 理 相 談	保 健 医 療 相 談	介 護 方 法	経 済 的 相 談	住 宅 改 修	福 祉 用 具
R3 年度	357	56	507	463	91	273	326
R2 年度	419	72	470	353	74	290	265
H31 年度	470	54	562	508	126	286	227

【総合相談支援事業】

(現状)

- 地域に住む高齢者の方々に関する多種多様な相談に対応し、本人とその家族の心身状況や生活の実態の把握に努めており、適切な制度やサービス、支援機関につなげる等、包括的・継続的な支援を行っている
- 全体的な相談数は前年度比で増加している。要因の一つとして、R2 年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に落ち着いてきていることが考えられる
- 相談世帯数／割合をみると、昨年度と比べ、「家族同居」世帯や「65 歳以上のみ」の世帯の割合が増加し、コロナ禍前の平成 31 年度に戻りつつある。一方で「単身」世帯の割合が減少している

(今後の方向性)

- 地域で暮らす高齢者とその家族を含めた住民の方々のご困りごとを受け止め、必要な支援を検討する。適切な制度やサービス、必要に応じて医療機関につなぎ、関係機関と連携しながら切れ目のない包括的・継続的な支援が行われるようにフォローしていく
- 民生委員の方や地域の人と密に関わりながら支援していく

Ⅲ. 権利擁護業務

(1) 相談内容別延べ件数

年度	虐待	消費者被害	成年後見	措置入所
R3年度	262	0	14	0
R2年度	261	3	17	2
H31年度	295	2	16	2

(2) 虐待通報実人数・虐待会議数

年度	実人数	うち継続数	開催回数
R3年度	9	3	70
R2年度	22	4	73
H31年度	17	5	43

(3) 虐待通報者数（上位のみ）

年度	サービス機関	警察	親族
R3年度	5	1	3
R2年度	9	6	3
H31年度	9	3	2

【権利擁護業務】

(現状)

- 虐待通報実人数は、昨年と比べ減少しているが、相談内容延べ件数はほぼ変わらない。虐待においても気軽に相談できる関係ができていることから、相談件数が多数あがっていると考えている
- コア・ケア会議として、被虐待者が利用しているサービス機関等の関係者から個々に情報や意見聴取を行い、方針決定や役割分担など内部及び関係機関との会議を行った
- 虐待件数は減少しているが、1件のケースに対して継続支援が必要なことが多く、会議開催回数も増えた
- 「えん joy ネット高浜」の活用や会議を開催することで、スピーディーな情報や意見聴取、建設的な議論、情報共有等が行え、ネットワークづくりや結束力・信頼関係の構築につながった
- 権利擁護支援センターと共催で高齢者虐待に関する研修を開催した

(今後の方向性)

- 高齢者の虐待防止や早期発見のための実態把握に努め、適切な対応が行えるよう関係機関との連携を密に行う
- 成年後見制度や消費者被害相談等、権利擁護について総合的に応じ、高浜市権利擁護支援センターと協力して消費者被害を未然に防ぐための取組を継続して行う
- 権利擁護支援センターと共催で権利擁護に関する研修を継続して行う

IV. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 関係機関会議

会議名	内容	開催数
高齢者サービス調整会議	市内外の関連する全介護保険サービス事業所が参加し保険者・事業者間の連絡調整を行う	6回
地域包括支援センター等運営協議会	学識経験者や医師、民生児童委員、介護サービス事業所等関係機関、市で運営に関することの協議を行う	2回
民生児童委員協議会	毎月の定例会に参加。一番身近な情報をもとに、連絡調整を行う	10回
特定高齢者等ケース検討会議	健康推進グループや社会福祉協議会等関係機関が集まり配食サービス利用や介護保険未利用者の処遇等に関する検討、連絡調整を行う	週1回
市内通所事業所連絡会議	各事業所で開催される連絡会議に参加。地域包括支援センターの事業PRと連絡調整を行う	4回
南部まち協見守り訪問報告会	毎月の報告会に参加。情報の共有と役割分担等問題解決に向けて協議する	11回
ケアマネジャー情報交換会	市内居宅介護支援事業所と地域包括支援センターで情報共有を行う	2回
支援調整会議	地域包括支援センターの地区担当が参加。支援機関の情報共有と具体的な支援方法を検討する	1回

(2) 現任介護職員研修

開催日	内容	参加者	参加者数
8月26日 (120分)	「難聴」の理解～高齢難聴者の接し方と補聴器の有効活用～	介護保険サービス事業所	20
10月25日 (180分)	認知症の方の基本理解とケア	介護保険サービス事業所	15

(3) 介護支援専門員研修

開催日	内容	参加者	参加者数
7月14日 (60分)	介護予防ケアマネジメントについて	居宅介護支援事業所	12
10月15日 (180分)	ケアプラン作成のポイント	居宅介護支援事業所	14

(4) 地域包括支援センター内で必要時、個別ケースの情報共有・検討を実施した

(5) 地域ケア会議

地域包括支援センターに市内ケアマネジャーや関係機関から相談があった事例を基に地域ケア会議を開催した

1) 参加者

地域包括支援センター（事業担当、地区担当）、居宅介護支援事業所（主任介護支援専門員、介護支援専門員）、市内訪問・通所介護事業所職員、権利擁護支援センター、生活支援コーディネーター、保険者等

2) 開催日、内容等

開催日	内 容	参加者数
4月30日	デイサービスの他利用者や施設職員とのコミュニケーションに苦慮しているケース	14
7月8日	本人の清潔が保てず、拒否のあるキーパーソンへの関わりについて困っているケース	7
1月19日	障がいのある息子と二人暮らししている歩行困難な方の在宅復帰に向けて課題検討したケース	8

(6) フレイル予防に着目した地域ケア個別会議

自立支援・介護予防の観点に立ったアセスメント能力の向上やサービス等の提供に関する知識や技術の習得、多職種間の専門性に関する相互理解やチームアプローチの強化を目指し、事例検討を行った

内 容	参加者及び参加者数	開催数
地域包括支援センターより、事業対象者、要支援1・2の事例を提供し、専門職が検討する	理学療法士・管理栄養士・生活支援コーディネーター 社協・行政・保健師・看護師・ケアマネジャー 10名～12名/回	3回

【包括的・継続的ケアマネジメント】

(成果)

- 市内事業所を対象とした研修（現任介護職員研修）では、前年度のアンケートで希望が多かった難聴と認知症の支援について研修を行った。介護支援専門員研修については介護予防ケアマネジメントやケアプラン作成に必要な知識の習得を目指した講習を行った
- 地域の会議、民生児童委員協議会、内部の関係者との会議を通して、顔の見える関係づくりを行った。また地区担当者が地域の関係者と継続した関わりを持つことで、地域の情報収集や相談など円滑に対応することができた
- 地域ケア会議では、困難事例ケースの課題分析と事例検討をすすめることにより、関係事業所や各部署との連携を図ることができた。多問題事例を検討することで多職種連携や地域連携の重要性を再認識することができた
- フレイル予防に着目した地域ケア個別会議では、要支援者の事例検討を多職種で行うことにより、要支援者の生活行為の課題の解決や状態を改善させ、自立を促す手立てを見つけることができた

(今後の方向性)

- 経験の浅いケアマネジャーに対して研修を行い、より良いケアマネジメントの実践を目指すとともに、相互の情報交換等を行う場を設定し、ネットワーク構築の強化を図る
- 専門性やサービスの質の向上のため、ケアマネジャーや現任介護職員への研修を実施するとともに、高齢者福祉に関する情報提供を行う
- 介護保険サービス事業所に対する研修会を開催し資質向上を図る
- 地域ケア個別会議や事例検討会を通し、専門的なスキルの向上や多職種間の連携、チームアプローチの強化を図る
- フレイル予防に着目した地域ケア個別会議では、市内居宅介護支援事業所からの積極的な参加を促し、自立支援・重度化防止のための支援アプローチの強化を図る

V. 介護予防ケアマネジメント

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

総合事業とは、従来予防給付として提供されていた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を市町村の実施する事業に移行し、要支援者の能力を最大限に活かすとともに、要介護状態になることを予防し、自立した生活が送れるように支援することである

【介護予防ケアマネジメント】介護予防・日常生活支援総合事業

(成果)

- 初回相談やサービス未利用者の要介護認定更新申請の際に、総合事業についての説明を健康自生地や宅老所等のインフォーマルサービスに関する情報提供を交えながら行い、基本チェックリストによる簡易な判定も活用し、サービスの調整を図った
- 本人や家族の状態変化に応じた相談対応により、適切なタイミングでの介護保険申請を支援した

(今後の方向性)

- インフォーマルサービスを積極的に取り入れたケアプランの作成を行います

(2) 指定介護予防支援事業

区 分		令和3年度		令和2年度
		数	前年度比	数
介護予防給付	包括	1,378	114.7	1,201
	委託	1,201	108.6	1,106
総合事業	包括	868	115.0	755
	委託	509	87.5	582
合 計		3,956	108.6	3,644

(3) 指定介護予防支援事業委託件数

市町村	委託事業所名	介護予防給付	総合事業
高浜市	高浜安立荘居宅介護支援事業所	94	1
	高浜市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	0	32
	こもれび支援センター	238	110
	ケアプラン ひびき	479	210
	パートナーケア高浜	25	2
	クローバーケアプランセンター	218	108
碧南市	碧南市みどり居宅介護支援事業所	5	14
	ケアプランセンターひまわり	4	0
	居宅介護支援事業所 わっぱ	44	19
刈谷市	はじめやケアセンター	12	0
	オーネスト杜若指定居宅介護支援事業所	12	12
安城市	居宅介護支援事業所ひがしばた	4	0
	えんがわ居宅	26	0
大府市	ケアプラン あい	36	1
	さわやかなの丘居宅介護支援事業所	4	0
合計		1,201	509

【介護予防ケアマネジメント】指定介護予防支援事業

(現状)

- 委託ケースについて、サービス担当者会議への出席や提出されたケアプランの確認、助言・指導を行った
- 全体の介護予防支援件数は、前年度と比べ、312件増加している。介護予防給付、総合事業共に包括の担当件数は増加している

(今後の方向性)

- 委託ケースについて、フレイル予防に着目した地域ケア個別会議に事業所の参加を促し、自立に向けたケアマネジメントが行えるように支援する
- ケアマネジメントの質の向上に向け、前年度に引き続き、ケアマネジャーに対する助言等を行う

VI. 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 高浜市在宅医療・介護連携推進協議会について

高浜市在宅医療・介護連携推進協議会とは、地域における包括的かつ継続的な在宅医療・介護の連携についての検討を行うものであり、保健医療関係者や介護保険サービス事業者等により構成されている

開催日	内容
3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜市における在宅医療・介護連携推進事業について ・えん joy ネット高浜について ・地域住民への普及啓発について

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援について

- ・平成30年1月よりえん joy ネット高浜の運用を開始し、慢性期～急性期～維持期・回復期～終末期における対象者の情報を切れ目なく、地域の医療・介護関係者間で共有し、どのような状態になったとしても安定した支援を提供できる環境づくりを行っている
- ・令和4年3月31日時点で愛知県内47市町村と同システムを活用した連携について協定を締結しており、市外の関係機関も「えん joy ネット高浜」に参加できるようになっている

えん joy ネット高浜 利用状況について (令和4年3月31日 現在)

『登録機関・登録者数』 *市外関係機関は含まず

区分	登録機関数	登録者数
病院・診療所	10	15
歯科診療所	8	8
薬局	8	10
介護	27	92
その他	5	25
合計	58	150

『患者数・記事数』

患者数	記事数
143	7,508

(3) 医療・介護関係者の研修

●実施

項目	開催日	内容
医療・介護関係者の研修	12月2日	在宅医療連携研修会 「在宅での摂食嚥下障害への対応」
	2月24日	認知症についての事例勉強会
地域住民への普及啓発	12月14日	「健康なうちに悔いのない自分の終い方を考える」
	3月16日	市民のための終活講座 「もしものときの医療・ケアについてー最期までわたしらしく暮らすためにー」
その他	11月18日	事例検討会

●参加

- ・ 令和3年度地域包括ケア相談体制整備事業 情報収集型研修会
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議
- ・ 地域包括ケア実践セミナー
- ・ 刈谷医師会在宅医療管内連携会議（管内市の状況報告・情報交換）
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業担当者会議（管内市や医師会、豊田会と事業内容に関する検討）

【在宅医療・介護連携推進事業】

（成果）

- 医師や歯科医師、薬剤師等からも気になる患者の相談が直接入る頻度が増えた
- えん joy ネット高浜を活用することで、高浜市外の医療機関や介護事業所ともマメな情報共有ができるようになった

（今後の方向性）

- えん joy ネット高浜の活用促進を図る
- 研修や相談窓口の利活用促進を図る
- 新型コロナの感染状況に配慮しつつ、事例検討会等顔の分かる関係づくりの機会をつくる

VII. 認知症総合支援事業

(1) 普及啓発

	認知症キャラバン サポーター受講者数	認知症サポーター 養成講座開催数	キャラバン・メイト 連絡協議会開催回数
R3 年度	680	19	0
R2 年度	22	6	0

(2) 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護

	認知症初期集中支援チーム員会議検討件数	刈谷医師会 認知症ネットワーク会議検討回数
R3 年度	27	3
R2 年度	45	3

(3) 介護者への支援

認知症高齢者を介護する家族会

	参加者数	開催回数
R3 年度	42	5
R2 年度	70	9

認知症カフェ活動状況

	昭和で元気になるカフェ	
	参加者数	開催回数
R3 年度	169	5
R2 年度	175	6

*よってこのカフェは R3 年度、R2 年度ともに新型コロナウイルス感染症の影響で開催なし

(4) 認知症の方を含む高齢者にやさしい地域づくり

SOS ネットワーク事前登録者数	58
SOS ネットワークサポーター登録者数	318
SOS メール配信数	4

【認知症総合支援事業】

(成果)

- 認知症月間に、広報での周知を行うとともに、高浜市立図書館に協働で「認知症特集コーナー」の設置を行った
- いきいき広場でのブース展示やトイレでのポスター掲示、市内薬局でのポスター掲示を行い、幅広い年齢層の方々に認知症の普及啓発を行った。その結果、窓口での認知症相談に繋がったケースがあった

(今後の方向性)

- 認知症の方やその家族が、専門職や認知症に理解のある方に気軽に相談できる体制の構築に取り組む
- 認知症ケアに携わる専門職を対象に、認知症対応力向上のための研修会を開催する

Ⅷ. 生活支援体制整備事業

(1) 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起

内容	回数
地域ケア会議・サービス調整会議出席	2
民生児童委員協議会出席	9
地域・社会資源への訪問	40

(2) 関係者のネットワーク化

内容	回数
南部まちづくり協議会の見守り定例会等参加	11
協議体参加	32

(3) 生活支援サービスの担い手の養成

内容	回数	参加者
支え合い・お手伝いサポーター養成講座	1	8

【生活支援体制整備事業】

(成果)

- 「個人の暮らしを支えるネットワークづくり」について、高浜南部まちづくり協議会が行っている「見守り支援」の協力者拡充に努めた。いきいきクラブ、まち協高齢者生きがいグループ代表者に働きかけ、定例会に参加することになった
- 生活支援サービスの担い手の養成講座を開催し、昨年度の7名に引き続き8名を新たに養成。昨年度養成者のうち1名が担い手として活動している

(今後の方向性)

- 生活支援コーディネーターや協議体と連携しながら、高齢者のニーズに応じた地域資源の開発に取り組む
- 地縁組織や地域の支援者間のネットワーク構築と強化に取り組み、インフォーマルサービスの周知を図る

IX. その他

(1) 家庭介護者支援事業（市内事業所との共催で、介護者や一般市民に対する介護教室を開催）

年 度	内 容	参加者
R3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2 年度と同様に、動画教材等の作成 （認知症の方の視点が伝わるよう寸劇を動画として作成） ・ 在宅生活を継続するために、各サービスの分かりやすいリーフレットを作成 （市内事業所に配布し活用してもらう） 	17 事業所
R2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍を考慮し、講義等の代わりに動画教材等の作成 （疲れた時の「リフレッシュ動画」を作成し、YouTube にアップ） ・ 終活を考えるきっかけづくりになるリーフレットを作成 （市内事業所に配布し活用してもらう） 	15 事業所
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の運転免許証自主返納について 	38 人

(2) 住宅改修

65 歳以上の高齢者と要支援・要介護認定者の住宅を改修するにあたり、現場確認・助言を行った。また、住宅改修の理由書を作成し、改修後の評価を行っている

改修内容としては、手すりの取り付けが最も多く、次いで段差解消、床材の変更となっている

年度	訪問件数
R3 年度	67
R2 年度	56
H31 年度	73

(3) 認定調査

新規申請調査等に適宜同行し、実態把握に努めるとともに適切なサービス利用につなげている

(4) まちづくり協議会への参加

まちづくり協議会への参加は、地域とのネットワークを形成するための大切な機会となっている。地域課題の解決に向け話し合い、協働によるまちづくりを推進している。地域包括支援センター職員と地域住民との顔が見える関係づくりに努めている

まちづくり協議会	R3 年度	R2 年度	H31 年度
高浜南部まちづくり協議会	12	3	21
吉浜まちづくり協議会	3	4	11
翼まちづくり協議会	3	2	6
高取まちづくり協議会	2	0	4
高浜まちづくり協議会	8	8	7

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催が増え、参加回数が減少している